

第 73 回国民体育大会県予選 (第 2 日)

場所：美咲町中央運動公園野球場

期日：2018/6/10 8:45～

2 回戦

環太平洋大学 3 1 0 1 3 8

河童クラブ 2 3 0 1 0 6(規定により時間切れ)

環：先村 (2 回) 片山 (2 回) 萩原 (1 回) — 山内

河：吉田 — 光元

本塁打：須藤、山内、大森 (以上環)

二塁打：大城、長谷川(以上環)西村、南野(以上河)

戦評

1 回表先頭の大森が死球で出塁、1 死となったが 3 番山内がレフト前ヒットでチャンスメイク。ここで 4 番須藤が 1-2 からレフトスタンドへスリーランホームランを叩き込み 3 点を先制。1 回裏先頭を死球を与え送りバントと四球で 2 死 1、2 塁ピンチ。次打者を内野ゴロに打ち取ったものの一塁手が落球の失策し慌てた送球が暴投となり二者の生還を許し 3-2 と 1 点差。2 回表の攻撃、9 番 1 中條がバントヒットで出塁し、1 番 2 番が倒れたものの 3 番山内が四球を選び前の打席にホームランの 4 番須藤では故意四球で満塁、ここで 5 番大城の時に押し出しとなる四球で 4-2 とリードを広げた。しかし、2 回裏に 2 死から連打と四球後 3 連打され 4-5 と逆転を許した。1 点を追いかける 4 回、1 死から 3 番山内が 2-1 から同点となるソロホームランをレフトスタンドへ叩き込み追いついた。3 回から登板した片山が 4 回に自らの失策で 1 死三塁のピンチを招きここでもタイムリーを許して 5-6 とリードを許した。時間制の試合のため後数分と追い詰められた 5 回表の攻撃は、1 死から代打の長谷川がツーベースヒットで出塁しここで 1 番大森がライト線を破るランニングホームランで逆転に成功、2 死となったが 3 番山内が四球を選び 4 番須藤もヒットで続き、5 番大城が右中間を破り 8 点目。その裏は、萩原を投入し三者三振で規定により 5 回時間切れのゲームセットとなった。制球の乱れと守備のミスが失点に繋がる苦しい展開となったが決勝にコマを進めた。

期日：2018/6/10 10:54～

決勝戦

平林金属 0 2 1 0 2 6 11

環太平洋大学 2 0 0 0 0 0 2(規定により 6 回コールド)

平：松田 — 平本

環：萩原(4回)、先村(2回) — 山内

本塁打：山内(環) 木谷(2期生)、浜本(8期生)、井上(7期生)、尾崎(以上平)

二塁打：原、山内(以上環)

#### 戦評

決勝は西日本リーグ首位を走る平林金属と対戦。1回裏に1死から2番中村が内野安打で出塁、3番山内が3-2からレフトスタンドへ先制ツーランホームランにより2-0とリード。しかし、2回表に2死1塁から9番木谷(2期生)に2-2からレフトスタンドへツーランを打たれ同点。3回表にも2死2塁のピンチにタイムリーを許し2-3とリードされる。ここで5回から先村にスイッチ、しかしこの回先頭の1番浜本(8期生)に0-1からライトスタンドへソロホームランを打たれ2-4。続く2番西山(1期生)が四球で出塁、2死2塁となって代打の和田のセンター前にタイムリーを打たれ2-5とリードを広げられる苦しい展開。6回にはこの回先頭の尾崎にレフトスタンドへソロホームランを打たれ2-6。次打者を死球で歩かせてしまい9番木谷(2期生)しぶとくレフト前に落とされ1、2塁。1番浜本(8期生)の投手ゴロが野選となり7点目。2番西山のバントの打球を一塁に暴投となり打者走者までホームインされて10点目。1死から4番井上(7期生)にレフトスタンドへソロホームランを打たれ11失点となった。攻撃では相手平林金属先発の松田(現日本代表)相手に先制のホームランを含む4安打を浴びせたものの流石のピッチングで要所を締められ6回7点差コールド負けとなった。卒業生8名とJapan代表が数名在籍する平林金属と戦えたことは選手にとってプラスになると思います。投手のコントロールミスや守備の乱れが出て課題が残る今日の2試合となりましたが、しっかりと練習で修正して今後の大会(西日本インカレ、全日本総合選手権予選、全日本インカレ)に生かしていきたいと思います。